

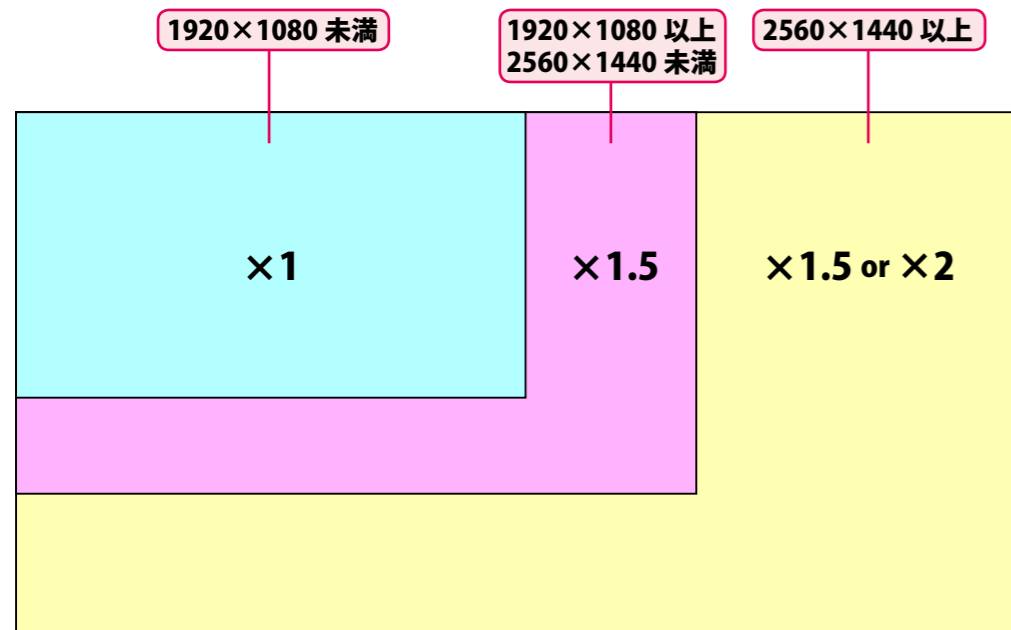
### [新機能12] その他の小ネタ新機能4連発

#### HiDPIディスプレイ機器への対応 (Windowsのみ)

HiDPI は High-dot per inch の略で、1 インチあたりのドット数が多く高解像度であることを表す用語です。

高解像度ディスプレイが繋がれた Windows で Illustrator CC を利用した場合に、**ツール**や**各種パネル**などの UI (ユーザーインターフェース) が大きく表示されるようになりました。**ツールアイコン**や**パネル内の文字**が高精細に表示され、通常表示と比べて判別しやすくなりました。

\*「HiDPI ディスプレイの解像度」と「UI の表示倍率」



**Memo**..... OS のテキストサイズ設定によっては、上図とは異なる倍率になる場合もあります。

**Memo**..... Mac は Illustrator CS6 バージョン 16.0.3 から Retina ディスプレイに対応し、グラフィックをより美しく表示したり、UI を大きく高精細に表示したりできるようになりました。

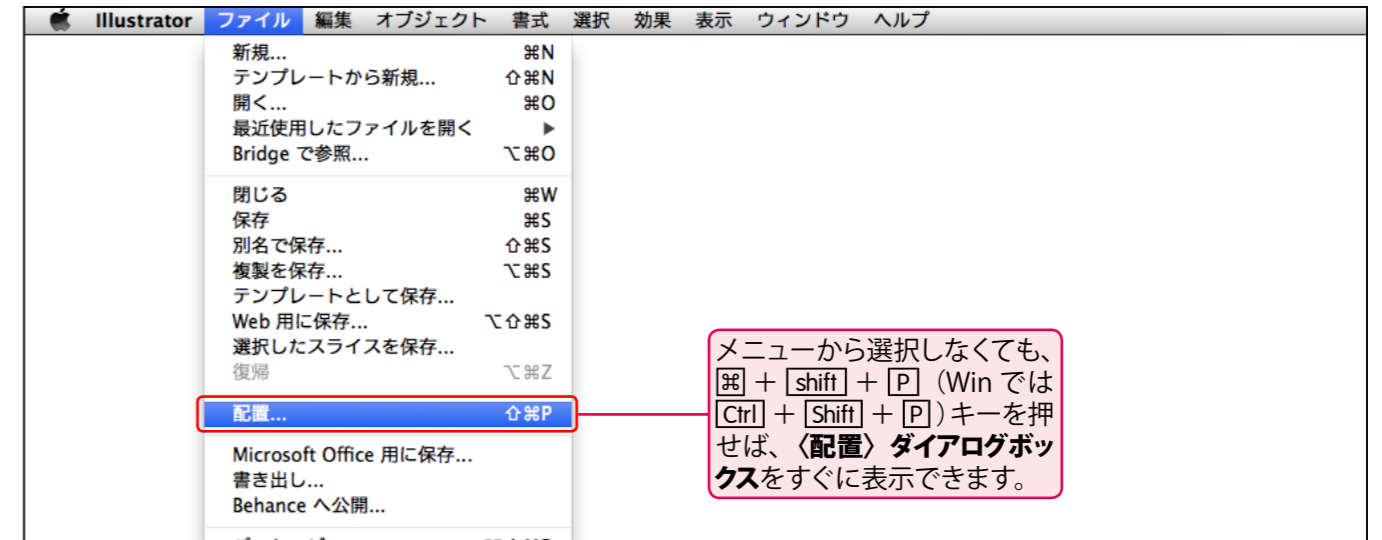
#### Windows 8 タブレット機器での筆圧感知への対応

Windows 8 タブレット機器の筆圧感知入力機能を Illustrator CC で利用できるようになりました。

**Memo**..... 今までのバージョンでは、Wacom 社のタブレット機器の筆圧感知機能にのみ対応していました。

#### 標準のショートカットキーで「配置」が可能に

[ファイル] → [配置...] を、標準のショートカットキーで呼び出せるようになりました。今までのバージョンでも独自にショートカットキーを割り当てることができましたが (下記 Memo 参照)、共有のパソコンで作業する場合などには、やはりショートカットキーが統一されていたほうが便利です。

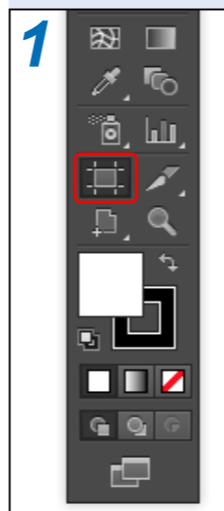


**Memo**..... 独自のショートカットキーを割り当てるには [編集] → [キーボードショートカット...] を選択します (『Illustrator CC パーフェクトマスター』 P.582 参照)。

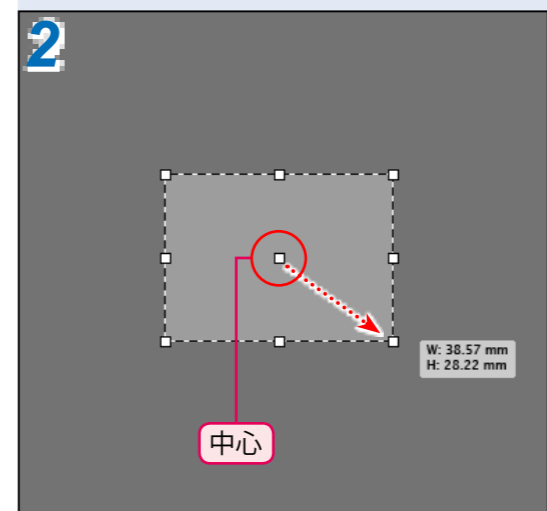
#### 中心を基準にアートボードを操作可能に

〈アートボードツール〉でアートボードの新規作成や拡大・縮小を行う際に、**option** (Win では **Alt**) キーを押しながらドラッグを行うと、アートボードの**中心** (上下左右中央) を基準にアートボードの大きさを変化させることができるようになりました。

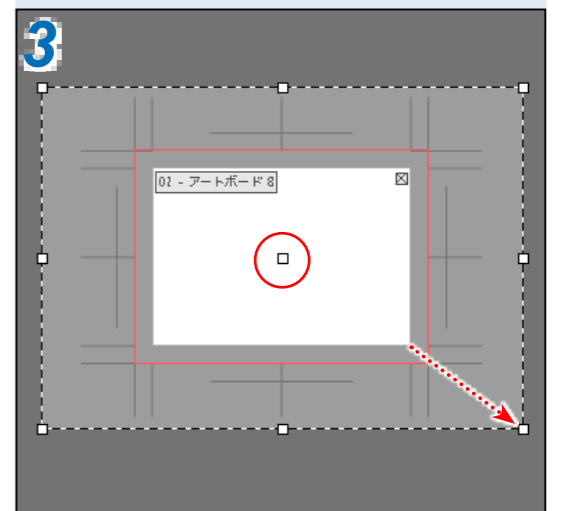
1 〈アートボードツール〉を選択。



2 既存のアートボード以外の場所を **option** (Win では **Alt**) + ドラッグ。  
⇒ ドラッグの始点を **中心** とした新しいアートボードを描画できます。



3 アートボードの **ハンドル** を **option** (Win では **Alt**) + ドラッグ。  
⇒ アートボードの **中心** の位置を固定したまま、アートボードを **拡大・縮小** できます。



**Memo**..... 上記の手順で **option** キーを押さずにドラッグしたときは、**左上** を基準に新規作成や拡大・縮小が行われます。  
**Reference**..... 〈アートボードツール〉でアートボードを作成・操作する手順の詳細は『Illustrator CC パーフェクトマスター』の P.190 を参照してください。



# Illustrator CC

## パーフェクトマスター

この PDF 記事とほぼ同じ感じで  
Illustrator の全機能を解説している書籍です。  
手元にあると何かと安心な一冊。  
お近くの書店またはネット書店で  
ぜひお買い求めください。

- 玉生洋一 (たまおよういち) 著 / 秀和システム刊
- オールカラー 888 ページの超ボリュームで 3200 円 + 税!
- 書籍内で使用しているサンプルファイルはダウンロード可能!
- Windows & Macintosh 両対応!
- Illustrator CS2 ~ CS6/CC に対応!



<http://2moru.blogspot.jp/>